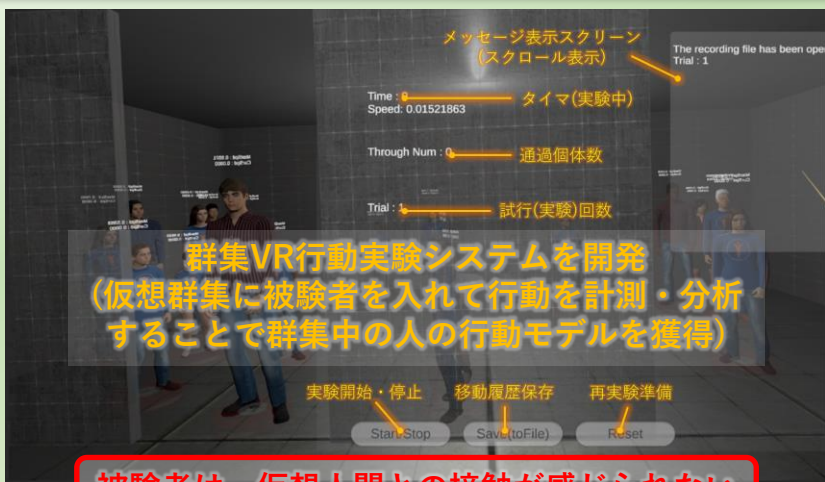


令和6年度 リサーチユニット採択テーマ

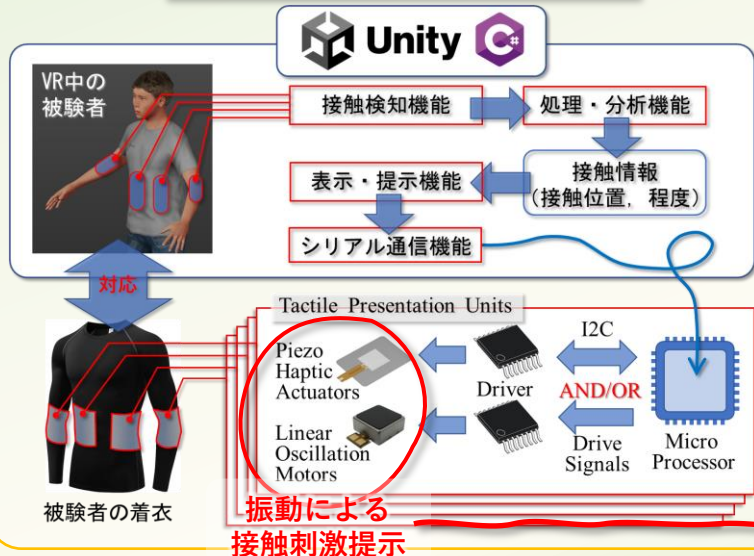
群集VR実験システムにおける接触感覚提示ユニットの開発とその感性工学的評価

ユニットメンバー： 福田耕治(リーダー) 杉野隆三郎 松原弘明(外部メンター:東京高専)



被験者は、仮想人間との接触が感じられない

接触感覚提示システムの開発

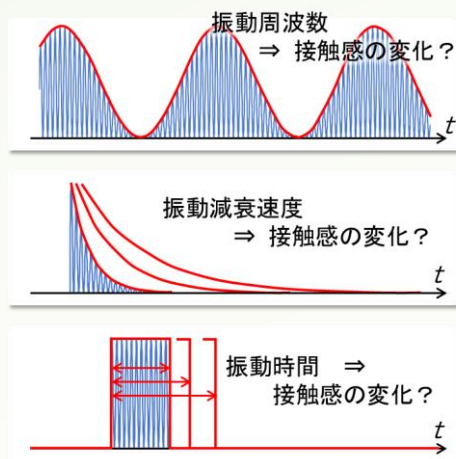


試作・アプリ・動作確認完了

駆動方法と刺激評価の検討

① 単純パターンによる計測・分析

振動モータの駆動周波数：100～200 [Hz]
この振動振幅を右のように時間的に変化させることで
認知される接触感覚に違いが生じる。



振幅パターンによる接触感覚の違いを
「感性工学による定量的評価」
をすることで明確にする。

② 録音・再生による計測・分析

実際の摂食に伴う振動を右のように録音（記録）し、そのデータを用いて再生する。

録音時および再生時それぞれの接触感覚の違いを
「感性工学による定量的評価」
をすることで明確にする。



③ 市販の接触提示システム

最近市販された低価格の接触提示システム（ゲーム用）の利用も検討する。